

Well-being (幸福・健康)な社会づくりに向けた研究拠点の形成

日本福祉大学・社会福祉学部・教授 **近藤 克則**

科学研究費助成事業 (科研費)

社会経済的因子による「健康における不平等」の研究
(2002-2004 基盤研究(B))

介護予防に向けた社会疫学研究－健康寿命をエンドポイントとする大規模コホート研究
(2006-2009 基盤研究(B))

社会的排除としてのwell-being格差とソーシャル・キャピタルの研究
(2011-2015 基盤研究(A))

2009-2013 文部科学省
平成21年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

2010-2012 厚生労働科学研究費(長寿科学総合研究事業)「介護保険の総合的政策評価ベンチマークシステムの開発」(H22-長寿-指定-008)

2013- 厚生労働科学研究費(長寿科学総合研究事業)「介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究」(H25-長寿-一般-003)

生活習慣だけでなく心理的・社会的因子も不健康の危険因子であること、社会経済的な格差による「健康格差」が日本にも見られることを、①理論研究、②大規模調査の横断分析で実証。

③縦断追跡調査に発展させ、コホート研究、パネル調査分析で関連要因や因果関係を解明。

多面的なアプローチにより、介護予防を始め、多くの健康関連領域や社会政策においても、社会疫学的な視点が応用可能であることを検証。

Well-being (幸福・健康)な社会づくりに向けた社会疫学研究とその応用のための拠点として、2009年に日本福祉大学健康社会研究センターを開設。

実証研究で得られた知見を、厚生労働行政に反映。社会的対策の必要性や格差是正のための方策を各種メディアで情報発信。

- 「健康格差社会－何が心と健康を蝕むのか」(医学書院、2005)で社会政策学会賞(奨励賞)受賞(2006)
- 検証「健康格差社会」－介護予防に向けた社会疫学的大規模調査(医学書院、2007)
- Health Inequalities in Japan: An Empirical Study of the Older People. (Trans Pacific Press, Melbourne, 2010)
- 「健康格差社会」を生き抜く」(朝日新聞社、2010)
- 「医療クライシス」を超えて」(医学書院、2012)

「健康日本21(第二次)」(2012)の目標に「健康格差の縮小」「社会環境の質の向上」が加わる。

地域間の健康格差と関連要因の「見える化」



介護予防サポートサイト
http://www.yobou_bm.umin.jp/